

# 緊急度アセスメントシート及び 子どもの安全確認チェックリストについて

## 1 趣旨・目的

児童虐待相談対応件数が年々増加する中で、虐待の内容や程度に応じた効果的な児童相談所による相談援助活動又は市町村における子ども家庭支援を実施するためには、児童相談所及び市町村をはじめ、子どもに関係する機関が適切な役割分担を図り、次の点に留意の上、協働・連携した取組を進めていくことが必要となる。

- (1) 児童相談所と市町村が相互の役割や機能を理解した上で、すき間なく援助又は支援を行う。
- (2) 子どもの置かれている状況や背景を的確に把握し、児童相談所と市町村のどちらが中心となって援助又は支援に取り組むことが適切かを判断する。
- (3) 円滑な情報共有を図るとともに、役割分担においても、児童相談所と市町村が相互の理解、納得を深め、共通認識の上でケース対応に取り組む。

これらの目的を達成するため、児童虐待に係る児童相談所と市町村の共通のリスクアセスメントツールを作成し活用を図る。

## 2 使用方法

### (1) 対象

児童相談所及び市町村において、通告等により受理した「児童虐待」又は「児童虐待が疑われる」ケース

### (2) 内容

#### ① 子どもの安全確認チェックリスト

##### ア 内容

通告受理時や初期調査の段階に得られた情報に加え、さらに詳しい調査により得られた情報をもとに、虐待の状況や生活環境などを評価するにあたり、必要な情報を確実に把握するとともに、子どもや家庭の状況を適切に判断する。

##### イ 使用場面

家庭訪問、初期調査、援助方針会議、要保護児童対策地域協議会 等

#### ② 緊急度アセスメントシート

##### ア 内容

虐待が疑われる場合、児童虐待通告受理後の初期段階において、当面の判断に必要な情報を優先して把握、整理し、一時保護の要否などを判断する。

##### イ 使用場面

緊急受理会議、通告受理後の家庭訪問 等

# 緊急度アセスメントシート

児童相談所用

児童氏名 \_\_\_\_\_  
生年月日 \_\_\_\_\_

性別 男・女  
年齢 \_\_\_\_\_

(記入年月日 年 月 日)

<b>①当事者が保護を求めている</b>	<input type="checkbox"/> 子ども自身が保護・救済を求めている <input type="checkbox"/> 保護者が子どもの保護を求めている	
<b>②当事者の訴える状況が差し迫っている</b>	<input type="checkbox"/> 確認にはいたらないものの <b>性的虐待の疑い</b> がある <input type="checkbox"/> このままでは「何をしてくすか分からない」「殺してしまいそう」などの訴え等	YES → <b>緊急度 A</b> 分離を前提とした緊急介入 緊急一時保護を検討
<b>③すでに虐待により重大な結果が生じている</b>	<input type="checkbox"/> <b>性的虐待 (疑い)</b> <input type="checkbox"/> <b>重度以上の外傷</b> <最重度> <input type="checkbox"/> 頭部外傷 (慢性・急性硬膜下血腫、頭がい骨骨折など) <input type="checkbox"/> 腹部外傷 (内臓損傷など) <input type="checkbox"/> 頭部、腹部以外の重篤な骨折、裂傷、打撲傷、眼球の外傷、熱湯や熱源による火傷・熱傷痕 <中度> <input type="checkbox"/> 治療を要するほどの骨折、火傷、顔面の外傷 <input type="checkbox"/> 慢性的なあざや傷痕 (タバコ等) <input type="checkbox"/> 閉じ込められる、拘束されているような外傷 <input type="checkbox"/> <b>最重度のネグレクト</b> <input type="checkbox"/> 脱水、栄養不足による衰弱がある <input type="checkbox"/> 低出生体重児や基礎疾患によらず、加療中か不明で、身長体重が標準から大きく外れている (乳幼児で体重の増加が見られない等) <input type="checkbox"/> 生命に関わる医療行為の拒否がある <input type="checkbox"/> 乳幼児を長時間、大人の監督もなく放置している	YES → <b>緊急度 A</b> 分離を前提とした緊急介入 緊急一時保護を検討
<b>④次に何か起これば、重大な結果が生ずる可能性が高い</b>	<input type="checkbox"/> <b>乳幼児</b> <input type="checkbox"/> <b>生命に危険な行為</b> (頭部打撃、顔面攻撃、首締め、シェーキング、道具を使った体罰、逆さ吊り、戸外放置、溺れさせる、腹部攻撃等) <input type="checkbox"/> <b>中度の外傷</b> <input type="checkbox"/> 比較的軽度 (医療機関受診を要しない程度) だが、保護者からの説明に合理性がない外傷 (擦過傷、打撲傷、内出血など) <input type="checkbox"/> <b>重度のネグレクト</b> <input type="checkbox"/> 電気やガス等のライフラインが止まっている。 <input type="checkbox"/> 保護者に慢性的な精神疾患があり、乳幼児の世話ができていない	
<b>⑤虐待が繰り返される可能性が高い</b>	<input type="checkbox"/> 新旧混在した傷、入院歴 <input type="checkbox"/> 過去の介入 (複数の通告、過去の相談歴、一時保護歴、施設入所歴、「きょうだい」の虐待歴) <input type="checkbox"/> 保護者に虐待の認識・自覚なし <input type="checkbox"/> 保護者の精神的不安定さ、判断力の衰弱	YES → <b>緊急度 B</b> 発生 (再発) 防止のための緊急支援 発生前の一時保護を検討
<b>⑥虐待の影響と思われる症状が子どもに表れている</b>	<input type="checkbox"/> 保護者への拒否感、恐れ、おびえ、不安 <input type="checkbox"/> 面接場面での様子 (無表情、表情が暗い、過度のスキンシップを求める等) <input type="checkbox"/> 虐待に起因する身体的症状 (発育・発達の遅れ、腹痛等)	YES → <b>緊急度 C</b> 集中的支援の実施 集中的な支援 場合によっては一時保護を検討
<b>⑦保護者に虐待に繋がるリスク要因がある</b>	<input type="checkbox"/> 子どもへの拒否感情・態度 <input type="checkbox"/> 精神状態の問題 (鬱的、出産ストレス、育児ノイローゼ等) <input type="checkbox"/> 性格の問題 (衝動的、攻撃的、未熟性) <input type="checkbox"/> アルコール・薬物等の問題 <input type="checkbox"/> 公的機関等からの援助に対し拒否的あるいは改善が見られない <input type="checkbox"/> 家族・同居者間での暴力 (DV等)、不和 <input type="checkbox"/> 日常的に子どもを守る人がいない <input type="checkbox"/> 住所が頻繁に変わる <input type="checkbox"/> 昼間や夜間に長時間外に出されている <input type="checkbox"/> 極めて不衛生な環境にある	YES → <b>緊急度 C</b> 集中的支援の実施 集中的な支援 場合によっては一時保護を検討
<b>⑧虐待の発生につながる可能性のある家庭環境等</b>	<input type="checkbox"/> 虐待によるのではない子どもの生育上の問題等 (発達の遅れ、障害等) <input type="checkbox"/> 子どもの問題行動 (攻撃的、盗み、徘徊、自傷行為、嘘をつく等) <input type="checkbox"/> 保護者の生育歴 (被虐待歴、愛されなかった思い等) <input type="checkbox"/> 養育態度・知識の問題 (意欲なし、知識不足、期待過剰等) <input type="checkbox"/> 家族状況 (祖父母等含む保護者の死亡・失踪、離婚、妊娠・出産、ひとり親等) <input type="checkbox"/> 外傷が残るほどではない暴力がある <input type="checkbox"/> 「子どもを叩いてしまいそう」と保護者が訴えている <input type="checkbox"/> 子どもが過度にきょうだいの世話や家事を行っている (ヤングケアラー) <input type="checkbox"/> 兄弟間の差別的な取り扱いがある <input type="checkbox"/> 無視、暴言、乱暴な扱いなど保護者の不適切な関わりがある	YES → <b>緊急度 D</b> 継続・総合的支援の実施 継続的・総合的な支援 場合によっては一時保護を検討

# 緊急度アセスメントシート

市町村要対協用

児童氏名 \_\_\_\_\_  
生年月日 \_\_\_\_\_

性別 男・女  
年齢 \_\_\_\_\_

(記入年月日 年 月 日)

<p>①当事者が保護を求めている</p>	<p><input type="checkbox"/> 子ども自身が保護・救済を求めている <input type="checkbox"/> 保護者が子どもの保護を求めている</p>	<p><b>緊急度 A</b> <b>緊急介入</b> 児相へ通告</p>
<p>YES ②当事者の訴える状況が差し迫っている</p>	<p><input type="checkbox"/> 確認にはいたらないものの性的虐待の疑いがある <input type="checkbox"/> このままでは「何をしてくすか分からない」「殺してしまいそう」などの訴え等</p>	
<p>NO ③すでに虐待により重大な結果が生じている</p>	<p><input type="checkbox"/> 性的虐待(疑い) <input type="checkbox"/> 重度以上の外傷                  &lt;最重度&gt;  <input type="checkbox"/> 頭部外傷(慢性・急性硬膜下血腫、頭がい骨骨折など)  <input type="checkbox"/> 腹部外傷(内臓損傷など)  <input type="checkbox"/> 頭部、腹部以外の重篤な骨折、裂傷、打撲傷、眼球の外傷、熱湯や熱源による火傷・熱傷痕                  &lt;重度&gt;  <input type="checkbox"/> 治療を要するほどの骨折、火傷、顔面の外傷  <input type="checkbox"/> 慢性的なあざや傷痕(タバコ等)  <input type="checkbox"/> 閉じ込められる、拘束されているような外傷  <input type="checkbox"/> 最重度のネグレクト  <input type="checkbox"/> 脱水、栄養不足による衰弱がある  <input type="checkbox"/> 低出生体重児や基礎疾患によらず、加療中か不明で、身長体重が標準から大きく外れている(乳幼児で体重の増加が見られない等)  <input type="checkbox"/> 生命に関わる医療行為の拒否がある  <input type="checkbox"/> 乳幼児を長時間、大人の監督もなく放置している</p>	<p>YES <b>緊急度 B</b> 発生(再発)防止のための緊急支援 児童相談所と支援方針を至急協議</p>
<p>NO ④次に何か起これば、重大な結果が生ずる可能性が高い</p>	<p><input type="checkbox"/> 乳幼児 <input type="checkbox"/> 生命に危険な行為 (頭部打撃、顔面攻撃、首締め、シェーキング、道具を使った体罰、逆さ吊り、戸外放置、溺れさせる、腹部攻撃等)  <input type="checkbox"/> 中度の外傷  <input type="checkbox"/> 比較的軽度(医療機関受診を要しない程度)だが、保護者からの説明に合理性がない外傷(擦過傷、打撲傷、内出血など)  <input type="checkbox"/> 重度のネグレクト  <input type="checkbox"/> 電気やガス等のライフラインが止まっている。  <input type="checkbox"/> 保護者に慢性的な精神疾患があり、乳幼児の世話ができていない</p>	
<p>YES ⑤虐待が繰り返される可能性が高い</p>	<p><input type="checkbox"/> 新旧混在した傷、入院歴 <input type="checkbox"/> 過去の介入 (複数の通告、過去の相談歴、一時保護歴、施設入所歴、「きょうだい」の虐待歴)  <input type="checkbox"/> 保護者に虐待の認識・自覚なし <input type="checkbox"/> 保護者の精神的不安定さ、判断力の衰弱</p>	<p>YES <b>緊急度 C</b> 集中的支援 市町村が主体となり集中支援</p>
<p>NO ⑥虐待の影響と思われる症状が子どもに表れている</p>	<p><input type="checkbox"/> 保護者への拒否感、恐れ、おびえ、不安 <input type="checkbox"/> 面接場面での様子 (無表情、表情が暗い、過度のスキンシップを求める等) <input type="checkbox"/> 虐待に起因する身体的症状(発育・発達の遅れ、腹痛等)</p>	<p>YES <b>緊急度 D</b> 継続・総合的支援</p>
<p>NO ⑦保護者に虐待に繋がるリスク要因がある</p>	<p><input type="checkbox"/> 子どもへの拒否感情・態度 <input type="checkbox"/> 精神状態の問題(鬱的、出産ストレス、育児ノイローゼ等) <input type="checkbox"/> 性格の問題(衝動的、攻撃的、未熟性) <input type="checkbox"/> アルコール・薬物等の問題 <input type="checkbox"/> 公的機関等からの援助に対し拒否的あるいは改善が見られない <input type="checkbox"/> 家族・同居者間での暴力(DV等)、不和 <input type="checkbox"/> 日常的に子どもを守る人がいない <input type="checkbox"/> 住所が頻繁に変わる <input type="checkbox"/> 昼間や夜間に長時間外に出されている <input type="checkbox"/> 極めて不衛生な環境にある</p>	
<p>NO ⑧虐待の発生につながる可能性のある家庭環境等</p>	<p><input type="checkbox"/> 虐待によるのではない子どもの生育上の問題等(発達の遅れ、障害等) <input type="checkbox"/> 子どもの問題行動(攻撃的、盗み、徘徊、自傷行為、嘘をつく等) <input type="checkbox"/> 保護者の生育歴(被虐待歴、愛されなかった思い等) <input type="checkbox"/> 養育態度・知識の問題(意欲なし、知識不足、期待過剰等) <input type="checkbox"/> 家族状況(祖父母等含む保護者の死亡・失踪、離婚、妊娠・出産、ひとり親等) <input type="checkbox"/> 外傷が残るほどではない暴力がある <input type="checkbox"/> 「子どもを叩いてしまいそう」と保護者が訴えている <input type="checkbox"/> 子どもが過度にきょうだいの世話や家事を行っている(ヤングケアラー) <input type="checkbox"/> 兄弟間の差別的な取り扱いがある <input type="checkbox"/> 無視、暴言、乱暴な扱いなど保護者の不適切な関わりがある</p>	

# 子どもの安全確認チェックリスト

児童氏名		性別	男・女	生年月日	年 月 日	年齢	歳 カ月
所属	保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校・なし	身長	(成長曲線 <sup>cm</sup> SD)	体重	( <sup>g</sup> SD)		
虐待者	実父・実母・継父・継母・その他( )	虐待種別	身体的・ネグレクト・心理的・性的				

記入者	実施日	年 月 日	再実施日	年 月 日
-----	-----	-------	------	-------

子どもの安全確認において、虐待の状況や生活環境を評価するに当たって、本チェックリストの事項を確認すること。

注！ 本リストはリスク把握の目安として活用し、アセスメントにおいては下記項目以外の情報も含めて判断すること。

- 各項目の摘要欄について、「該当」、「やや該当」、「非該当」、「不明」のいずれかに○印を記入する。(★印は重要項目)
- 記入者の評価が保護者の発言と異なる場合は、記入者の評価とともに保護者の発言に△印を記入し、特記事項に理由を記載すること。
- **3歳未満の児童**については、リスクを高めに考える必要がある。
- 不明項目が多い場合は評価を保留し、調査を実施。なお、**調査に応じないための「不明」はハイリスク**として把握。

項目	摘要	該当	やや該当	非該当	不明
虐待の状況	★虐待の継続性・頻度	虐待が継続的に発生している			
	★子どもに対する虐待歴	過去に子どもへの虐待歴がある			
	★子どもを未確認	子どもの目視による安全確認がなされていない			
	★きょうだい児への虐待	過去にきょうだい児への虐待歴がある			
	特記事項				

項目	摘要	該当	やや該当	非該当	不明
子どもの状態・特性	身体的状態	介助が必要な障がい・持病、発達障がいの診断がある			
	★成長・発達	身長体重が標準から大きく外れている(必ず体重を測定し確認すること)			
	精神的・心理的状态	無表情、凍りついた凝視、緊張が高い			
	対人関係	愛着関係の脆弱さ、反抗的態度、子どもらしさの欠如がある			
	問題行動	乱暴・暴言や、自傷行為、窃盗・虚言などの問題行動がある			
	★意思・気持ち	保護者を怖がる、家に帰りたいがらない			
	保護者への態度	不自然な保護者への密着、保護者と視線が合わない			
	★性への高い関心	年齢不相应な性的関心・言動、性的逸脱行為がある			
特記事項					

項目	摘要	該当	やや該当	非該当	不明
主たる虐待者	身体・知的状況	慢性疾患など身体的疾患、知的障がいがある			
	★精神的・心理的状态	精神的な問題で診断・治療歴がある			
	性格の問題	社会的なトラブル、性格的偏りがある			
	★アルコール・薬物	アルコール・薬物依存がある			
	被虐待歴等	被虐待歴、施設入所歴がある			
	子どもへの感情・態度	子どもへの拒否感がある、関心がない、接し方が分からない			
	虐待者の背景	虐待者の生育歴において、度重なる養育者の変更があった			
	★虐待者の様子	子どもが受けた外傷と保護者の説明に辻つまが合わない			
特記事項					

項目	摘要	該当	やや該当	非該当	不明
養育状況	★虐待の自覚	虐待行為の否定、自覚・問題意識がない			
	養育意欲・能力不足	意欲・能力が低い、未熟(長時間の外出や安全面への無配慮含む)			
	養育知識	知識の不足(若年親含む)、知識の偏りがある、理解力の不足			
	子どもへのケア	衣食住の監護なく劣悪な状態、または必要なケアをしない			
	特記事項				

項目	摘要	該当	やや該当	非該当	不明
同居者	★同調的態度	虐待者に同調し、子どもを責める			
	傍観的態度	虐待者から子どもを守る行動をとらない、無干渉			
	逃避的態度	問題と向き合わない、不在がちである			
	特記事項				

項目	摘要	該当	やや該当	非該当	不明
家庭環境	社会的サポート	社会的に孤立しており、外部からのサポートが得られない			
	子どもを守る人	日常的に子どもを危険から守る人や逃げ場がない			
	親族関係	支援できる親族がいない			
	夫婦関係	夫婦間に不和・DVがある、ひとり親家庭である、再婚で連れ子がいる			
	経済問題	借金、生活苦、失業など経済状況が著しく不安定である			
	生活環境	著しく不衛生な住環境、又は不自然な転居歴がある、多子世帯である			
	特記事項				

項目	摘要	該当	やや該当	非該当	不明
関係性	★協力的態度	調査に拒否的・関係機関の関わりを拒否し、非協力的である			
	援助効果	調整・改善を期待できない、実効性がない			
	特記事項				

## 子どもの安全確認チェックリスト 記入上の留意点

項目		留意点
虐待の状況	★虐待の継続性・頻度	該当：毎日又は毎週のように虐待が発生している やや該当：該当よりも頻度が低い場合（毎月、数か月に1回等） 非該当：過去、半年から1年に亘って虐待が認められない場合
	★子どもに対する虐待歴	関係機関における情報全てにおいて虐待の経過があるかどうか確認する。 時期等情報があれば特記事項へ記入すること。
	★子どもを未確認	関係機関を含め、子どもの安全確認がなされているか否かを確認する。 確認した時期が分かっている場合は時期を特記事項へ記入すること。また、長期の不登校・引きこもりの場合についても、子どもに会えていなければ該当とする。
	★きょうだいへの虐待	きょうだいへの虐待歴があるかどうかを確認する。 情報があれば特記事項へ記入すること。
子どもの状態・特性	身体的状態	該当：障がい、持病の情報がある、あるいは発達障がいの診断が出ている場合 やや該当：確かな情報はないが、その疑いがある場合
	★成長・発達	該当：小学生以上の児童で成長曲線-2SD以上の場合、 乳幼児で体重の増加が見られない、あるいは減少している場合 不明：乳幼児健診未受診のため不明の場合は、特にハイリスクとして把握すること。
	精神的・心理的状态	該当の場合は特記事項に記入すること。
	対人関係	該当の場合は特記事項に記入すること。
	問題行動	該当の場合は特記事項に記入すること。
	★意思・気持ち	該当の場合は特記事項に記入すること。
	★性への高い関心	該当：疑いがある場合でも該当とする。
主たる虐待者	身体・知的状況	該当の場合は特記事項に記入すること。
	★精神的・心理的状态	該当：診断、通院等の客観的な情報がある場合 やや該当：確かな情報はないが、疑いがある場合
	性格的問題	該当：過去に関係機関や他者と揉めた等の情報がある。 やや該当：トラブル情報はないが、性格的偏りが疑われる場合
	★アルコール・薬物	該当の場合は、状態を特記事項に記入すること。
	被虐待歴等	該当の場合は、情報を特記事項に記入すること。
	子どもへの感情・態度	該当：虐待者自らが子どもへの拒否感・無関心を発言、行動で示し一貫している場合 やや該当：状況によりむらがある場合
	虐待者の背景	該当：虐待者の生育歴の中で、養育者の入院・家出・蒸発・別居・離婚等により養育者が度々変更している場合 やや該当：一度でも養育者の変更があった場合
	★虐待者の様子	該当：虐待についてつじつまの合わない、あるいは明らかな虚偽の説明をする場合も含める。
養育状況	★虐待の自覚	該当：虐待行為を否定する、又は自覚や問題意識がない。
	養育意欲・能力不足	やや該当：意欲、能力に問題はなさそうだが、安全面への配慮不足がある。
	養育知識	該当：子育てについて、一般常識からかけ離れたこだわりがある場合も含む。
	子どもへのケア	該当：劣悪な衣食住の状態にある。または必要なケア（医療等）をしない場合 やや該当：確かな情報はないが、衣服が汚れている等疑いがある場合
同居者	★同調的態度	
	傍観的態度	どの態度にも該当しない場合は、特記事項へ記入すること。
	逃避的態度	
家庭環境	社会的サポート	該当：外部から全くサポートが得られていない状況にある場合 やや該当：時々外部からのサポート受けている場合
	子どもを守る人	該当：日常的に子どもを危険から守る人や逃げ場はあるが、実質的に支援につながっていない場合も含む。
	親族関係	該当：支援できる親族がいるが、関係が悪く、実質的な支援につながっていない場合も含む。
	夫婦関係	該当の場合は、夫婦関係を特記事項に記入すること。
	経済問題	該当：現状として、経済状況が著しく不安定な状況にある。 やや該当：今後、経済状況が不安定な状況に陥りそうな情報がある。
	生活環境	該当の場合は、生活環境について特記事項に記入すること。
関係性	★協力的態度	やや該当：特定の関係機関とのみ関わる場合
	援助効果	該当：過度に依存的で、自ら解決しようとしめない場合も含む。 やや該当：解決しようと試みるが、持続性がない場合